

イベントカレンダー

のだふじ開花週間(見頃) 4/13(月)～4/27(月)

開花は気温に大きく影響されます。
詳しくは「のだふじ開花情報サービス」06-6464-9923
もしくは、「のだふじの会」ホームページ
【<http://nodafuji.com>】でご確認ください。

① のだふじ巡り2020in野田新橋筋商店街 MAP② 4/18(土)、4/25(土) ※雨天決行

イベント内容
4/18(土) 11:00～
■「のだふじ苗木鉢植え販売」
福島区の花「のだふじ」の苗木を販売!
【限定100鉢】(なくなり次第終了)
※4/19(日)は下福島公園の新橋筋商店街ブースにて販売します!



4/18(土) 11:00～
■「のだふじ花見お茶席」
新橋筋でしか見れない貴重な「のだふじ大鉢」
見物を、本格的なお抹茶とのだふじがモチーフの
生菓子和共にお楽しみください。
※甲冑サムライ&芸者ガールに会えるかも!



4/18(土) 14:00～
■「のだふじ音楽会」
ヴァイオリン・チェロ・ピアノの三重奏や吹奏楽の音色で彩るひ
とときをお楽しみください。

4/25(土) 10:00～
■大人気企画!「百縁商店街」
食料品や衣料品など商店街の各お店が面白い商品を100円で販
売! お買得なポッキリ市も同時開催! 掘り出し物を探して新橋
筋を練り歩こう!

主催・問合せ
野田新橋筋商店街振興組合&5番街
06-6443-2518 (10:00～16:00) (火休)

野田藤創作菓子

野田ふじ煎餅
むらさきの雲
栗の辛
野田藤あそび(小)

詳しくはこちらの
ホームページへ
<http://naniwaya-kasih.com>

福島区野田2丁目 17-18
☎(06) 6461-2005

広告に関する一切の責任は広告掲載者に帰属します。広告の内容は、大阪市が推奨するものではありません。



新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止または一部内容が変更となる場合があります。詳しくはホームページなどでご確認ください。

② のだふじウォッチングスタンプラリー 4/18(土) 9:30～ ※小雨決行

イベント内容
9:30～江成公園 MAP②にて
受付(先着250名様)
10:00～引率 **中止になりました**

主催・問合せ
大阪福島ライオンズクラブ
06-6458-3669 (月～木10:00～16:00)



③ のだふじキャンドルアート (場所: 阪神野田駅前広場) MAP② 4/18(土) 19:00～21:00 ※雨天の場合は、翌日同時刻に延期

イベント内容
「のだふじ」と幽玄なキャンドルアートのコラボレーションを
お楽しみください。

主催
大阪福島ライオンズクラブ
福島区役所

協力
福島警察

問合せ
大阪福島ライオンズクラブ
06-6458-3669 (月～木10:00～16:00)



④ ノダヤオン (場所: 阪神野田駅前広場) MAP② 4/18(土) 19:15～20:15 ※雨天中止

イベント内容
福島区役所認定ミュージシャンによる
路上ライブをキャンドルアートの光と
共にお楽しみ
(出演:あ **中止になりました**)

主催・問合せ
福島区役所企画総務課(企画推進)
06-6464-9908 (平日9:00～17:30)



⑤ のだふじまつり2020 (場所: 下福島公園) MAP② 4/19(日) 10:30～16:00 ※雨天中止

イベント内容
のだふじのメインスポットに区内飲食店による屋台や福島県産日
本酒、地元商店会によるゲーム・占い(占い商店街)・お抹茶の
ブースが出陣
キッズダン **中止になりました** ふわ遊具も
あり、なんと
さらに、のだふじ苗木販売と盛りだくさん!
「福島」を満喫してください。

主催・問合せ
福島区のだふじまつり実行委員会事務局(福島区役所内)
06-6464-9908 (平日9:00～17:30)

発行 福島区役所・のだふじ巡り事業連絡会
(電話 06-6464-9908)

のだふじ 2020 巡り



(阪神野田駅前広場)

● 福島区の花 のだふじの歴史

往古の昔、古大和川と淀川から運び込まれる土砂が大阪湾に堆積し始め、「浪速の八十島」が生まれる中で、上流から流れ着いたフジがたまたま島の一つに根付きました。このフジは数百年間にわたり世代交代を繰り返しながら、平安時代末期には、現在の野田・玉川付近にあった「野田の細江」と呼ばれる入り江一帯に繁茂していました。古く、鎌倉時代初期の太政大臣西園寺公経は、このフジを和歌に詠んでいます。室町時代の貞治3年(1364年)4月に足利尊氏の子・室町幕府二代将軍足利義詮が、住吉詣での途中に野田の藤を見物したことが『義詮住吉詣』に記録されています。

このフジは、戦国時代には大部分切り払われましたが、わずかに現在の春日神社付近に生き残りました。安土桃山時代の文禄3年(1594年)、豊臣秀吉は駕籠を巡らせ、ここに藤見に訪れました。その後、「野田の藤」は「吉野の桜・野田の藤・高雄の紅葉」と童歌にも歌われ、最盛期を迎えました。

大坂冬の陣(1614年)の前哨戦「野田福島の合戦」で、徳川方の焼き討ちにあい、この付近は廃墟と化しましたが、元禄時代(1688～1704年)には復興し、遠く江戸にも「野田の藤」として、その名が知られるようになりました。元禄8年(1695)に江戸で刊行された日本最初の総合的園芸本『花壇地錦抄』に、「野田藤」の名が記載されています。「野田の藤」は花房が長く美しいことから、早くから江戸にも知られていたのです。江戸時代中頃には、代々の大坂城代や大坂町奉行が野田の藤見物に訪れました。太田南畝(蜀山人)など文人佳人も訪れ「野田の藤」のことを書き残しました。一本の樹木の歴史を、鎌倉時代から現代まで文献でたどれる事例は珍しく、「野田の藤」は、まさに「大坂の植物文化の象徴」と言えます(『大坂の庭園』長岡造形大学教授・飛田範夫)。戦前まで春日神社の境内に残っていた古木のフジは空襲で焼失してしまいましたが、接ぎ木により再生された子孫のフジは、区民の力により区内各所で開花するようになりました。「のだふじ」の盛衰の歴史に思いをはせつつ、福島区内各所で咲いているフジをお楽しみください。

(注: 植物としての「フジ」(カタカナ)、歴史上語り継がれてきた「野田の藤」(漢字)、そして福島区の固有名詞としての「のだふじ」(ひらがな)と書き方を使い分けています)